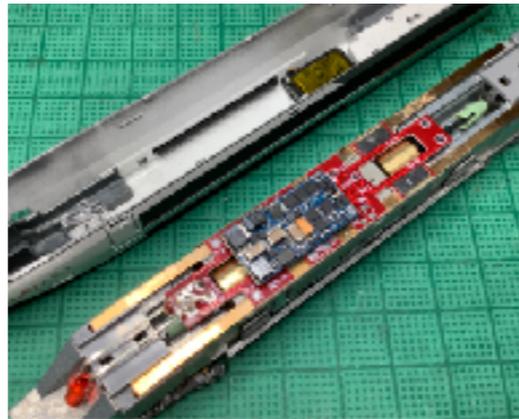


## ● 概要

EC-タイプTは、KATO TGVシリーズに特化したNEXT18規格用 ExpBoardです。これを使えばDCC化や、DCCサウンド対応がより簡単にできます。なお、NEM651対応前の車両でも本基板でDCC化が可能です。

ご注意：

右の写真は、KATO 10-1325 TGV リリア10両セットに搭載した事例写真です。レゾにおいては屋根裏のカットなどが必要になります。



## ● 仕様

外形	53mm×14mm×0.6mm (プリント基板本体のみ、電子部品を除く)
DCC入力	19Vmax (DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください)
モータ出力	最大500mA (利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください)
ヘッドライト/ テールライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	なし

## ● プリント基板(Ver1)の組み立て方

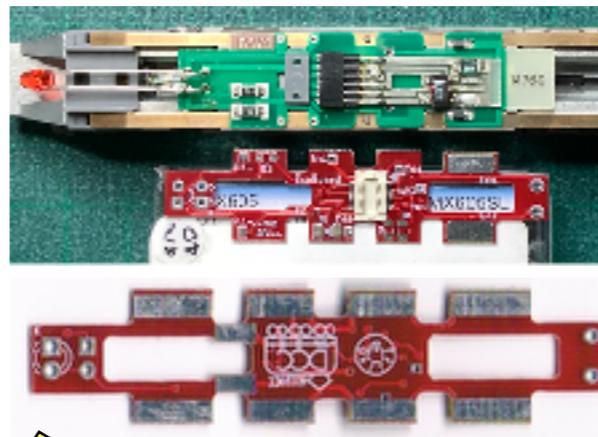


(1) R1にLED用の抵抗 (推奨 680Ω/2012サイズ)をはんだ付けしてください。

(2) テールライト用LED(赤)を、搭載する製品に合わせてはんだ付けしてください。

注意：LED極性は、下側がカソード (角ランド側) です。また、LEDの下側 (床側) のリードはなるべく短くカットしてください。長すぎるとボディが浮き上がる可能性があります。

(3) ヘッドライト用LED(白もしくは電球色)を、リードを短く曲げてはんだ付けしてください。

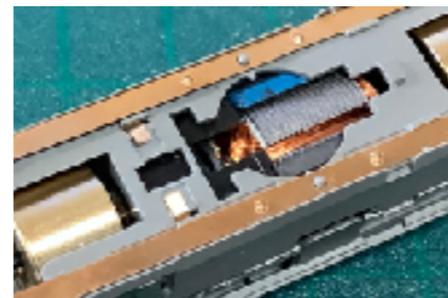


なるべくリード線を短くカット

## ● 車体への取り付け方法

車両のマニュアルに従って。ボディを外してください。

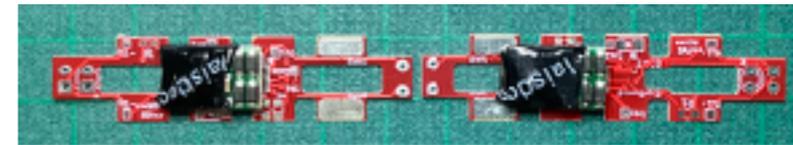
モーター押さえパーツの間に爪楊枝を差し込み引き抜きます。このときに、モーター端子が集電版の内側にセット されていることを確認してください。



## ● デコーダの取り付け

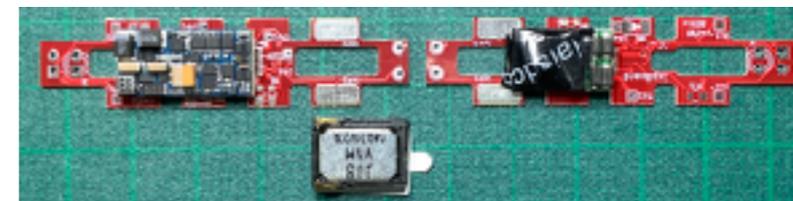
先頭車 (M車) 車端側に本体が来るようにさしこみます。最後尾車 (T車) も連結状態でM車と同じ向きにデコーダ をセット してください。

先頭車  
(M車)



最後尾車  
(T車)

先頭車  
(M車)  
Loksound5  
+Spealer



最後尾車  
(T車)

## ● 車体の取り付け

ボディを戻す前に必ず走行試験をしてください。また、スピーカーにエンクロージャをとりつけ、基板のスピーカーパッドに当ててサウンドが再生することを確認します。なお、エンクロージャの選定および構造は車体に合わせて検討ください。写真はnagoden頒布品で、1mm厚15mm 11mmのプラ板でも効果があることを確認済みです。

最後にボディにスピーカーを取り付けて、元に戻します。ボディ下部に隙間が残る場合には、デコーダの保護フィルムを剥がしたり、当たる部分をカットするなどの追加加工を行ってください。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

[traino@desktopstation.net](mailto:traino@desktopstation.net) にご連絡をお願いします。

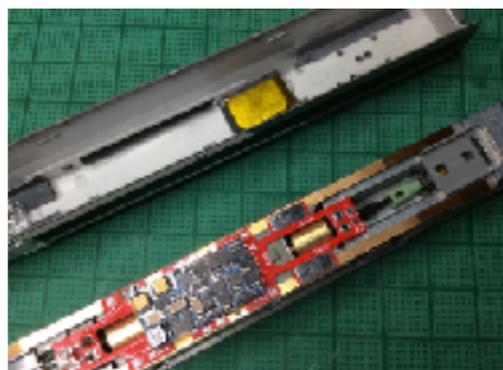
2020-9-12 改番1

## ● 概要

EC-タイプTは、KATO TGVシリーズに特化したNEXT18規格用 ExpBoardです。これを使えばDCC化や、DCCサウンド対応がより簡単にできます。なお、NEM651対応前の車両でも本基板でDCC化が可能です。

ご注意：

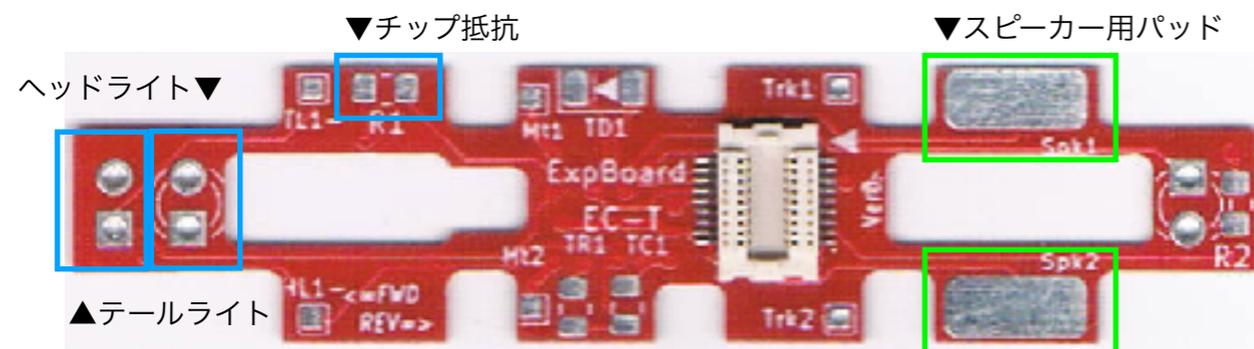
右の写真は、KATO 10-1325 TGV リリア10両セットに搭載した事例写真です。レゾにおいては屋根裏のカットなどが必要になります。



## ● 仕様

外形	53mm×14mm×0.6mm (プリント基板本体のみ、電子部品を除く)
DCC入力	19Vmax (DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください)
モータ出力	最大500mA (利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください)
ヘッドライト/ テールライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	なし

## ● プリント基板の組み立て方

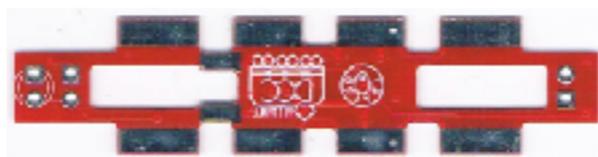
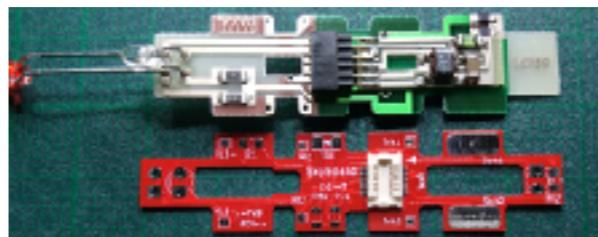


(1) R1にLED用の抵抗 (推奨 680Ω/2012サイズ)をはんだ付けしてください。

(2) テールライト用LED(赤)を、搭載する製品に合わせてはんだ付けしてください。

注意：LED極性は、下側がカソード (角ランド側) です。また、LEDの下側 (床側) のリードはなるべく短くカットしてください。長すぎるとボディが浮き上がる可能性があります。

(3) ヘッドライト用LED(白もしくは電球色)を、リードを短く曲げてはんだ付けしてください。



なるべくリード線を短くカット

## ● 車体への取り付け方法

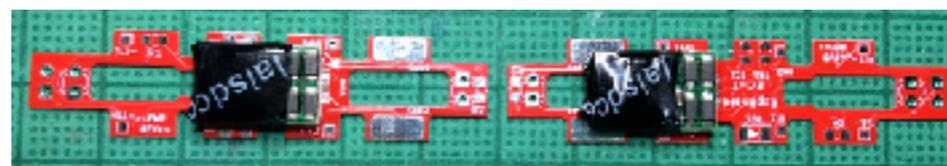
車両のマニュアルに従って。ボディを外してください。

モーター押さえパーツの間に爪楊枝を差し込み引き抜き、プリント基板を交換します。



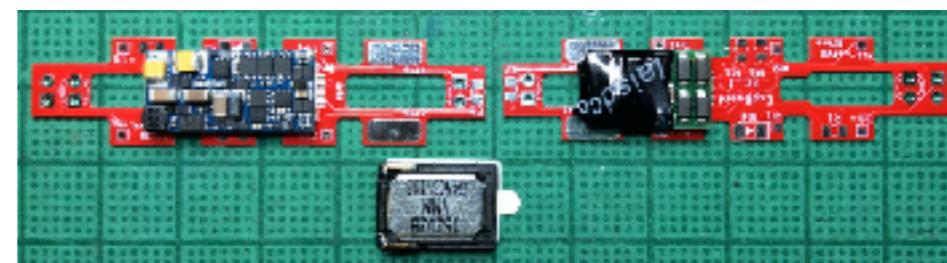
## ● デコーダの取り付け

先頭車 (M車) 車端側に本体が来るようにさしこみます。最後尾車 (T車) は逆に本体が連結側に向けてください。



先頭車 (M車)

最後尾車 (T車)



先頭車 (M車)  
Loksound+Speaker

最後尾車 (T車)

## ● 車体の取り付け

ボディを戻す前に必ず走行試験をしてください。また、スピーカーにエンクロージャをとりつけ、基板のスピーカーパッドに当ててサウンドが再生することを確認します。なお、エンクロージャの選定および構造は車体に合わせて検討ください。写真はnagoden頒布品で、1mm厚15mm 11mmのプラ板でも効果があることを確認済みです。

最後にボディにスピーカーを取り付けて、元に戻します。ボディ下部に隙間が残る場合には、デコーダの保護フィルムを剥がしたり、当たる部分をカットするなどの追加加工を行ってください。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

[traino@desktopstation.net](mailto:traino@desktopstation.net) にご連絡をお願いします。

2020-7-5 改番0